

石野教室だより 6月 4 教室合同版 (学習塾・そろばん・書道・英会話)

新学期が始まって2ヶ月が経ちました。

新しい生活にもそろそろ慣れた頃ではないでしょうか？

6月は、季節でいえば梅雨。雨が多く鬱陶しい季節です。

気温も高くなり、大人も子どもも何かと体力を奪われがちな季節ですね。

規則正しい生活を心がけ、体調を崩さないよう気をつけましょう。



個別指導学習塾のお知らせ

「集中が続かない」「雑になってきた」と感じたら…

新年度の緊張感も和らぎ、学校生活に慣れてきた今。

最近、子どもたちの様子の中に、少し気になる変化が見られるようになってきました。

● 気になる子どもの様子

- ・提出物や字が雑になっている
- ・人の話を聞いていない
- ・集中力が続かず、気持ちが散漫
- ・「とりあえずやった」だけで終わってしまう

これらは、普段からありがちですが、特に6月もっとも出やすい特有の「ゆるみ」や「疲れ」のサインでもあります。頑張りが続いた4月・5月を経て、ひと息つきたくなるこの時期に、誰にでも起こり得る変化です。

🏠 ご家庭でできるサポート

■ 「問いかけ」で気づかせる

「どうしてこんなに雑なの？」と叱るよりも、「これ、自分でどう思う？」「これで終わりで大丈夫？」と問いかけることで、自分の行動を振り返る力が育ちます。

■ 「ていねいにする」姿勢を一緒に育てる

字を書く・話を聞く・道具を扱う――

日常の中の“ていねいさ”を意識することで、自然と集中力も高まります。

■ 「真剣さ」は心の余裕から

真剣さが見えないときは、気持ちが不安定なことも。

まずは話を聞いてあげる、関心をもって見守ることが何よりの土台になります。

問題をきちんと読んで
ない、雑で自分のきた
ない字で間違える、
宿題がいいかげん(;;)
あるあるですよ

🌱 まとめ

6月の“ゆるみ”は、心と体のバランスがゆれる合図。

叱るより、対話と環境づくりで支えていくことが大切です。

ご家庭と教室が協力しながら、子どもたちの「考える力」「整える力」を育てていきたいと思います。

6年生の受験をお考えの方は1回1回の授業や宿題を大切にやっていきましょう！

中学オープンスクールのご案内をお月謝袋に同封しております

私立中学校には、それぞれ独自の教育理念や建学の精神があり、学校ごとに大きく特徴が異なります。近年は、入試制度や教育内容も大きく変化しており、保護者の皆様が中学生だった頃とは異なる状況になっています。

この機会にぜひ、複数の学校を実際に見学してみてください。パンフレットだけでは分からない「空気」や「校風」を感じられる貴重なチャンスです。

「上位校に入れば大学受験が有利」という時代は、すでに過去のものとなりつつあります。現在の大学入試では、約7割の受験生が推薦入試やAO入試（総合型選抜）で合格しています。つまり、いわゆる“学力勝負”で進学できるのは残りの3割程度。しかもその枠は、年々狭き門になっています。

国公立大学でも推薦制度が導入されており、3教科のみで受験できるケースも増えています。また、社会情勢の変化によって学部ごとの人気や難易度も大きく変動しています。

将来を見据えた進路選びのためには、保護者の皆様が正確で新しい情報を積極的に取りに行くことが大切です。ぜひ、学校見学を通してお子さまに合った進学先について考えるきっかけにいただければと思います。



そろばん教室からのお知らせ

4級までは割とどの生徒さんも検定に落ちることはあまりありません。いつもの調子がでなくて不合格ということがたまにあります。

受ければ合格していたのに3級からは今までのように行かず、何度も不合格はよくあることです。子どもにしてみればいつも合格していたのに不合格がとても辛くて、落ち込むことがあるように思います。なかなか合格が難しいから3級以上は価値があるのだと思いますし、ぜひ3級以上とってやめて欲しいと思っています。

「合格だけがゴールじゃない」

お子さんが検定試験に合格しなかったとき、親としてはつい「どうして…」と落ち込んでしまうこともあるかもしれません。けれど、合格しない経験こそが、お子さんのこれからの人生にとって大切な“土台”になることも多いのです。

悔しさを知るから、次に向かう力が育つ。

努力したのにうまくいかなかった経験は、やがて“本当の意味でのがんばり方”を教えてくれます。

子どもは、成功だけでなく、うまくいかなかった体験からも確実に成長しています。

検定の結果は、今のお子さんの一面を表しているに過ぎません。

その一步一步の過程こそが、大人になるための大切な“学びの時間”です。

どうか、結果だけにとらわれず、お子さんがここまでやってきた道のりを認めてあげてください。

そして「よくがんばったね」と、あたたかく声をかけてあげてください。

それが、次の一步を踏み出す大きな力になります。

書道教室からのお知らせ

広島書道展に出展された生徒に作品と賞状をもって帰ってもらいました。

一生懸命頑張って書いた作品です。

ほめまくってあげてください。

賞状だけの生徒もありますが今年は県立美術館に展示してもらえるよう頑張りましょうね。

その作品の字だけは2か月間練習しますのでその字は上手くなりますよ。

しかし他の字は上手く書けません。

色々な字が上手くなるにはたくさんの字を書いていく必要があります。

その為にも毛筆を持ってくるようにしてくださいね。

6月は5回ありますので6/23をお休みさせていただきます。

毛筆を持ってくる学年

6月2日	9日	16日	30日
3年6年	4年5年	中高生 2年で6級以上の人	持って来てねと いった人

外国人講師の英会話教室



どんなことでも継続は力なりと言いますが

英会話はまず英語と日本語とを聞き分けること

から始まります。日本語になっている英語も発音や音にしない単語があります。

最近気になったのが2つのことをダブルといいます。

が英語ではダボーのような言い方です。

聞いてすぐはきれいな発音なのですよ。

しかしダブルに慣れているためでてくるときがありますね。

グリーン・ブルーなどは日本が英語と同じような発音ですね。

色のオレンジと果物のオレンジは少し違います。まず発音の違い・聞き取りができるようになってから。

英会話といえ直ぐに英語が話せるわけではありません。

しかし聞いたことのある言葉は話すことができます。

それが大事なのです。日本語でも英語でもたくさんの言葉を聞くことで話せるのです。

知らない言葉は話せないのとにかく聞くこと

その環境にすることが必要です。

日本語でも模倣時期には自然にまねっこしています。

そこからです。ものおじせずまだ恥ずかしいと思わない時期、この時期が黄金期です

6月21日(土)は比治山小学校の参観日のためお休みさせていただきます

先日夏のイベントで行く似島に下見に行ってきました。新しく改装してきれいになってましたよ。ワクワク楽しみです。どんなふうにみんなが楽しめるか思案中です。詳しくは次回の教室だよりでお知らせします。